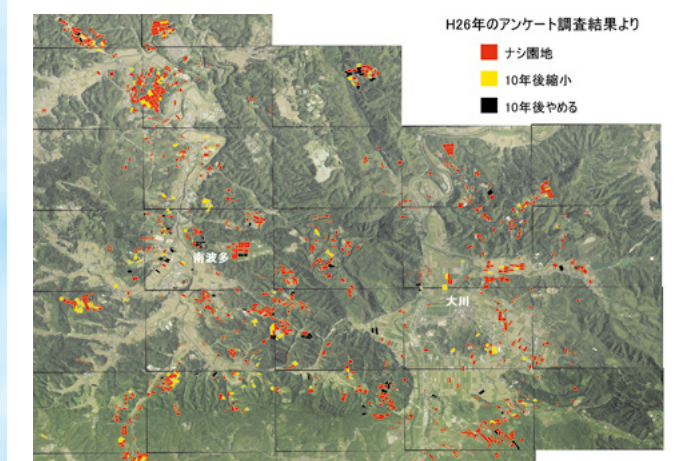


発行：伊万里農林事務所
西松浦農業改良普及センター
TEL(0955)23-5128 FAX(0955)23-5138
nishimatsuurafukyuu@pref.saga.lg.jp

NEWS TOPICS



10年後の園地の予想図

樹園地の将来について 集落のみなさんで 話す機会を作ってみませんか

管内は、ナシやブドウなどの落葉果樹の栽培が盛んな地域です。しかし、担い手の減少等により栽培面積や生産量の減少が続いています。

今後も担い手の減少が予想される中、伊万里梨の産地としての未来、地域の樹園地の将来を今のうちに考える必要があります。一人ではできないことも、集落の皆さんで一緒に考えることで改善策や解決策が見えてくることもあります。

大川町立川地区および南波多町府招上地区では、中間管理事業を活用した園地流動化に取り組まれ、現在では地元以外からでも「ナシ栽培をやりたい」という人を研修生として受け入れる体制づくりにしても検討を重ねられています。

みなさんも、自分たちの地域で困っていること、樹園地が今後どうなっていくのか、どうしていきたいのかを、集落全体で話す機会を作りませんか。そして、なりたい姿に向かっていくために何ができるのかを、集落の皆さんと関係機関と一緒に考えていきましょう。

肉用牛サポートセンターを活用し、 肉用牛一貫経営を始めませんか！

令和元年11月21日、伊万里市波多津町にJA伊万里肉用牛サポートセンターが稼働しました。本センターは、素牛の価格が高騰し、肥育牛農家の経営を圧迫しているため、肥育牛農家自らが子牛生産することを支援する施設です。繁殖雌牛と子牛を預かり、肥育素牛として子牛を肥育牛農家に返します。空き牛舎を活用した奥内初の取り組みで、現在、4戸の農家が利用されています。子牛はセンターで生まれた子牛と生後3ヶ月齢の子牛を預かっており、稼働後、7頭の子牛が生まれ、母牛、子牛合わせてのべ33頭が入所しています（5月末現在）。



運動中の牛たち



子牛への哺乳

ナカダ 中田のタカナ

女性の活躍で収穫もあつというま

伊万里市二里町の中田集落では、水稻の玄米品質の向上や鳥獣害対策、地域との交流など様々な取り組みを実践されています。令和元年は、これらの活動に加え、集落内女性を中心にタカナの栽培に挑戦されました。栽培期間中は集落内女性と機械利用組合のオペレーターで役割分担をされ、機械作業はオペレーター、追肥作業や収穫作業は女性を中心となり行うなど、作業ごとに役割を明確にし、確にしてい取り組まれました。1年目ということもあり面積は13aと小面積ではありましたが、収量は10a当たり4.7tと地域の平均反収（4t）を超える良い成績をあげられました。今後も、集落内女性の力を活かし、高収益作物などの新規品目導入や面積拡大を行うことで、さらなる集落営農組織の経営発展や活性化が期待されます。



タカナの追肥作業の様子



タカナ作業に集まった皆さん

期待の新技术!

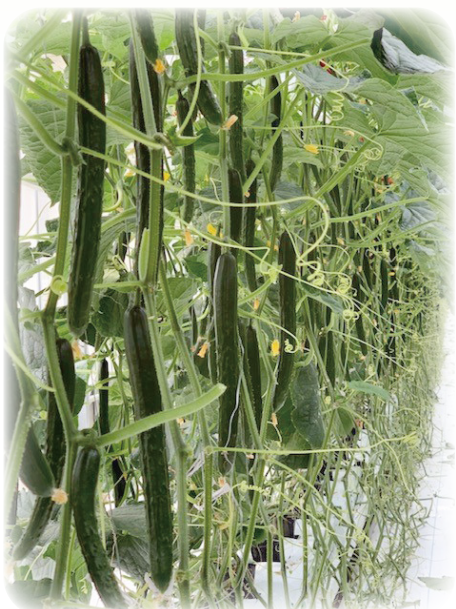
キュウリの養液栽培



ヤシガラ栽培システム



キュウリの収穫作業



収穫前のキュウリ

伊万里市大川町でキュウリを栽培されている中山道徳氏は、ヤシガラ培地による隔離培地養液栽培に取り組まれています。養液栽培とは、肥料を水に溶かした培養液を使用して作物を育てる方法で、土を使用しないのが最大の特徴です。養液栽培のメリットとして、土づくりやトラクターでの作業が必要ないこと、病害虫の発生が少ないこと、清潔な環境で作業を行えること、再現性の高さなどが挙げられます。

中山氏は、平成30年12月から養液栽培システムを導入され、慣行の土耕栽培と同等の40t/10aの収量を達成されています。今年はやシガラ栽培の面積を4aから10aに拡大されました。新技術導入により経営安定を図ることで、担い手の確保や産地全体のレベルアップにつながって欲しいとの思いをもつて取り組まれています。今後さらなる収量向上、技術の波及が期待されます。

普及センター ホームページの 紹介

西松浦普及センターのホームページは「存じでしょうか。ホームページには、米づくり情報などの技術情報や梨の農業研修生募集案内、中型哺乳類対策の手引き等の資料を掲載しています。今後も随時更新していきますので、ぜひご利用ください。

携帯電話のQRコード読み取り機能を利用して、アクセスすることが出来ます。QRコードが利用できない場合は、「西松浦普及」で検索してください。



西松浦普及

検索

佐賀県農業大学校

オープンキャンパスに

参加しませんか!!

○オープンキャンパス開催日

- 第一回 7月5日(日) 〈申込期限:6月25日(木)〉
- 第二回 7月29日(水) 〈申込期限:7月17日(金)〉
- 第三回 8月23日(日) 〈申込期限:8月13日(木)〉

令和3年度学生募集

入試区分	願書受付期間	試験日	合格発表日
推薦入試	令和2年 8月31日(月)~ 9月15日(火)	令和2年 10月2日(金)	令和2年 10月19日(月)
一般入試	令和2年 11月9日(月)~ 11月25日(水)	令和2年 12月11日(金)	令和3年 1月7日(水)

農をつむぎ
SAGA AGRICULTURAL COLLEGE
未来をつなぐ

「食」は人生の「命」。これ、自然の中で育つ「食」がもたらす健康は、人々の健康をいかに支えているか、食の未来をつなぐ、そして未来へ、私たちと共に、農業を学ぶ。

佐賀県農業大学校
令和3年度
学生募集

令和2年
7.5日・7.29日・8.23日

令和2年 8.31日~9.15日
10.2日

令和2年 11.9日~11.25日
12.11日

令和2年 1.17日~2.3日
2.19日

佐賀県農業大学校
TEL:0952-45-2144 FAX:0952-34-7004

問い合わせ：農業大学校養成部
0952-45-2144

令和二年度

職員紹介

前列(右から)

田崎 誠也
(野菜・花き)

東島 敏彦
(副センター長)

田中 俊朗
(センター長)

井上 一輝
(畜産)

中列(右から)

野口 真弓
(果樹)

前山 美和
(果樹)

藤井 美沙
(経営)

西村 尚子
(経営)

徳久 未来
(野菜・花き)

後列(右から)

坂本 紀子
(作物)

友澤 佑斗
(作物)

岡田 眞尚
(畜産)

田中 理沙
(野菜・花き)

下古場 稜一
(野菜・花き)

※田中理沙、下古場稜一は、東松浦農業改良普及センターが本務



吉田 大嗣 氏(伊万里市)

私は佐賀県農業大学校を卒業後、伊万里市木須町を中心に米大豆等を約45ha栽培している株式会社フェルマ木須に法人就農しました。仕事では、主に機械作業を担当し、水稲や大麦の品質にこだわった栽培や食品安全を目指しJGAP等にも取り組んでいます。

その他にも、19歳で地区の生産組合長を務め、伊万里地区4Hクラブへ加入するなど地域活動にも積極的に参加しています。4Hクラブでは、県内の若手農家との交流や、先進農家視察等で自己研鑽に努めています。今年は、1人1課題で乾田直播に挑戦し、省力化や栽培技術向上を目指します。

今後は数年後を目途に独立し、楽しくやりがいのある職場作りを行い、信頼されるトップになれるよう日々精進し、地域農業を盛り上げていきたいと思っています。絶賛、お嫁さん募集中です！

Vol. 3

アイドリ